

知ってる？ジオパーク

室戸市から得られる学び

立命館大学大学院生 ^{やまき}八巻 ^{しおり}栞



室戸市の皆さん、はじめまして。昨年度の室戸ジオパーク研究助成を受け、ジオパーク活動の柱のひとつである「防災」をテーマに研究を行いました。研究の一環として、関西圏の高校で室戸市吉良川町を題材にした人間と自然との関係性を踏まえた防災の授業を行って来ました。

勉強のため何度か室戸市で住民の皆さんとお会いしました。そのなかで、吉良川町の文化サイトである「吉良川の町並み」にお住まいの方々や、海成段丘(西山台地)で段丘の土地を活用し作物を生産している農家の方々とお話を通して、人と自然との距離が非常に近いことを実感しました。今回、授業実践を行った高校の生徒と同様、私も関西に居住していますが、特に都市部では人と自然がいかに密接に関わっているのかを実感しにくい部分があると思います。そうしたとき、室戸のように変動し続ける大地で、いかに自然と向き合い生活しているのかを知ることで、自然は時に私たち人間に災害をもたらしますが、自然と密接だからこそ得られる恩恵がたくさんあるという二面性を学ぶことができました。実際に、防災の授業を受けた生徒からは、「私も将来自然と関われるような場所に住みたいと思った」、「自然は災害ばかりではなく恩恵もある」といった感想が聞かれました。

一方で、地方が抱える課題として少子高齢化があり、室戸市も例外ではありません。吉良川町では、「吉良川の町並み」の維持・管理や備長炭の生産、祭りの継承などに課題があるそうです。これらの歴史ある地域の文化や産業を未来まで繋げていくためにも、地域内のみならず、地域外でも室戸を教育において活用し、広めていくことで、間接的に関わる人口を増やすことができ、将来的に室戸を支えることにも繋がるのではと思っています。



室戸の海



西山台地

■【お問い合わせ先】室戸世界ジオパークセンター内 室戸ジオパーク推進協議会事務局 ☎22-5161

地域おこし協力隊より

「ありがとうございました」

^{わだ}和田 ^{なりみ}也実



この1月末で地域おこし協力隊としての任期が終了します。あつという間でしたが、とても実りある3年間でした。

任期の前半はYouTubeチャンネルの撮影を通じて、室戸市内外の色々な方々にお会いする事ができました。こんなに小さな室戸の中でも、あまり知られていないような面白い場所や文化がたくさん残っていることを知りました。一番心に残っているのは池山池への参拝です。あんなに険しい参道にもかかわらず未だに地元の方々が山頂の神社に参る風習を守っているのに感動しました。こういった室戸の魅力に触れることができたのも、任期中に色々な場所を巡り、たくさんの方々に出会えたおかげです。

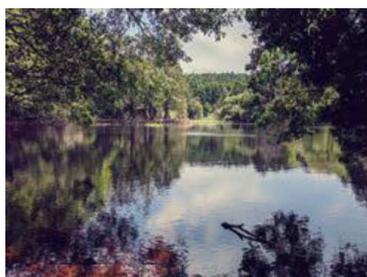
任期の半ばから後半にかけては、室戸ジオパークについて勉強する機会が増えました。ジオパークに関わったおかげで、室戸市内の各地域の大地の成り立ちと自然、歴史や文化についてより深く知ることができました。さらに最近では、富太郎博士をモデルとする

ドラマ「らんまん」の放送に向けてヤッコソウやシオギクなど、牧野博士に関連する室戸の植物について勉強する機会が増えました。今まで気にしていなかったような身の回りの植物も、実は貴重なものだったり地域特有の種であったりすることを知り、またひとつ室戸の魅力を発見することができました。

地域おこし協力隊としての任期は終わってしまいましたが、今後も室戸の魅力を発信していければと思います。



シオギク



池山池

■【お問い合わせ先】観光ジオパーク推進課 ☎22-5161